

## 平成23年度 第1回奈良県障害者施策推進協議会 委員質問および回答

質問者	質問内容	参考(当該資料より抜粋)	回答
辰己委員	<p>・点訳・音訳ボランティア登録者数 301人のうち、実動・活動されている方の人数はどの程度なのか。</p> <p>・点訳・音訳ボランティアを利用されている当事者の人数はどの程度なのか。</p>	<p>■資料1-1(22ページ)</p> <p>22年度実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点訳音訳ボランティア登録者 301人</li> <li>・登録手話通訳者 117人</li> <li>・登録要約筆記奉仕員 90人</li> <li>・登録盲ろう通訳・介助員 22人</li> </ul>	<p>・点訳・音訳ボランティア登録者数 301人のうち、実動・活動されている方の人数は、301人です。平成22年度においては、すべての登録者が活動されました。</p> <p>・視覚障害者福祉センターにおける点訳・音訳図書の出借利用者は369人でした。</p> <p>・ボランティアに直接、点訳・音訳を依頼された当事者の人数は点訳7人(8件)、音訳5人(23件)でした。</p>
村上委員	<p>・登録手話通訳者、登録要約筆記奉仕員、登録盲ろう通訳・介助員のそれぞれについて、派遣数はどの程度なのか。</p>	<p>同上</p>	<p>・登録手話通訳者の派遣件数は、1,931件、登録要約筆記奉仕員の派遣件数は、163件、登録盲ろう通訳・介助員の派遣件数は、257件でした。</p> <p>・次年度からは、点訳音訳ボランティアの利用状況や、各登録者の派遣件数についても、指標として資料に掲載します。</p>
阪口委員	<p>・障害児保育受入促進事業で、障害児対応保育士を加配する保育所に対して補助を行うとあるが、22年度実施保育所数35ヶ所はどこで、またそれぞれ何人が配置されているのか。</p> <p>・放課後児童健全育成事業補助、障害児受入推進事業で、障害児を受け入れるクラブに専門的知識等を有する指導員を配置とあるが、22年度実施クラブ数 74ヶ所はどこで、またそれぞれ何人が配置されているのか。</p> <p>・また、22年度、23年度の放課後子ども教室はどこで実施されるのか。</p>	<p>■資料1-1(6ページ)</p> <p>障害児保育受入促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22年度実施保育所数 35</li> </ul> <p>放課後児童健全育成事業補助、障害児受入推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22年度実施クラブ数 74</li> <li>・22年度放課後子ども教室開設数 50か所</li> <li>・23年度放課後子ども教室開設予定数 54か所</li> </ul>	<p>・別添資料のとおりです。</p>